



河辺林通信

建部北町の森から

2018年 8月号 No.244

↑夏の訪れを告げる大きなオニユリ

夏休みはじまる

夏休みに入り、まだ7月だというのに記録的な暑さが続いています。みなさん無事お過ごしですか？

森はというと、にぎやか？セミが鳴き、タマムシが飛び、ハグロトンボがヒラヒラと舞っています。が、植物の方は…この晴れ続きでアオキがぐでんぐでん。ササもクルクル。サクラは、もうすでに黄葉して葉を落としています。どの植物たちも省エネモードで頑張っています。

オオバコは葉っぱを開いてもらえない！縮こまっていた↓



↑花も実も既に終わったサクラはあきらめがいい！のか、黄葉が楽しめます。

毎年恒例のイベントの方は、今年も森の地蔵盆を筆頭にいろんなイベントを行います。一番乗りは葉っぱコレクション。この暑さなので、室内での活動の時間を多めに実施しました。このイベントは高学年向けで、本格的な森の植物標本を2週間かけて作ります。植物採取に行く前に、葉っぱの見分け方を知ってもらおうと、2種類の葉を用意し、どこが違うか問いかけてみるとさすが高学年！といった目の付け所でいろんな意見がでて盛り上がりしました。



↑2種類の葉の違いは！？

そして定番のクイズラリーは、この夏はリニューアル。8月10日までの前半は2コースのクイズを用意。後半の12日（日）～19日（日）は「スペシャル探険ウィーク」と題して様々なミッションを用意しています。

3回目のモリイコ！とモリイコ！S

今回のモリイコ！は「水のいきものつかみ」です。朝はもちろん森たんけんに行きました。森の中も夏になったので、セミなど今まで見つからなかったいきものが見つかりました。

たんけんの後は船を作りました。

午後からは、カニやドンコ、ザリガニを使って、水辺のいきものつかみの練習をしました。練習後は作った船で遊び、

そのままいきものつかみをしました。↑カニにさわれた！

また、網を使ってたくさんの魚やカニをつかまえました！つかまえたいきものは、最後は水槽の中に入れてみんなで観察しました。

お迎えに来られた保護者の方も一緒に見ていただきました。

つかまえた魚たちで→小さな水族館



今回の「モリイコ！S」では、お昼ごはんにはピザを作りました！照り焼きピザとトマトピザ。子どもたちは「え～、トマトきら～い」と言っていたのですが、いざ食べてみると「美味しい！」と言っていました。



↑みんなでピザを作ったよ！



↑チョウのストローを体験

午後からは、「チョウを体験してみよう」ということで、等身大のチョウのストローを作りました。

チョウのストローは、体長とほぼ同じ長さなので、自分の身長と同じ長さになります。

そして、そのストローで実際に水筒のお茶を飲んでみると、「全然飲めない！」「チョウってすごい」となりました。最後は森に行つてチョウを捕まえて観察しました。

●7月の作業だより

第2土曜日（7月14日）13人

① 水辺外来種退治班

下流に生えていたオオカナダモを退治しました。

② 草原外来種退治班

くさはら広場のセイタカアワダチソウとクズを退治しました。

③ 薪割り班

7月下旬からのやまの子キャンプで使用する薪を作りました。

④ 食事班

バンバンジーに野菜スープ、豚肉とズッキーニの炒め物、焼き野菜など夏にふさわしい料理が盛りだくさんでした。

第4水曜日（7月25日）9人

カシの木がナラ枯れをおこしていたので、つまようじをたくさん刺しました。上の方までカシノナガキクイムシに食われていましたが、脚立で届く範囲まで対処しました。

後半はやまの子キャンプで使用するための薪づくりをしました。

熱中症が流行っているなので、作業は休憩を取りながら無理せずに行いました。



8月の活動日

8/11 (土)	カシナガ退治 水辺退治 草原管理
8/16 (木)	枯損木伐採 カシナガ退治
8/22 (水)	カシナガ退治 草原管理

朝 9:00～(遅刻可)

第2土曜日は、9:00より

1時間ほど観察会を行います

7月観察会

今月の観察会は絶滅危惧種をテーマにしました。どれくらい危ないのか、わかりにくいから、分かりやすくしてみようという観察会です。

国の基準では

絶滅危惧IA類：ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

1. 過去 10年、または3世代で個体群が 80～90%以上減少した
2. 個体群の成熟個体数が250未満
3. 10年間、もしくは3世代の期間における絶滅の可能性が50%以上と予測される場合

分かりにくい！

ということで、分かりやすくすると、

絶滅危惧IA類：30～40年後に絶滅しそう
ということですね。

さて、ここからが本番？日本人はどうなの？
3世代=60年=2080年には人口は約7400万人になるので、2020年：12410万人とすると、40%減になります。よって、絶滅危惧II類に相当、250年後に絶滅予定ということになります。国の予測でも200年後は1380万人、90%の減少ということですね。本当に真剣に対応しないと行けません。

今秋のエコツアー

遊林会が里山保全活動の一環として取り組んでいる東近江市のエコツアーの今後のイベントのお知らせします。詳しくは、遊林会HPをご覧ください！

そとイコ!

- 9月1日(土) 19:00～20:30
『永源寺で星空観察会☆』
会場：池田牧場駐車場
(東近江市和南町)
- 11月18日(日) 13:00～16:30
『どうして太郎坊宮は
天狗なの？ 第2弾』
会場：太郎坊宮
(東近江市小脇町)



ボランティアメンバー募集!

遊林会は毎月ボランティアを募って、河辺いきものの森の保全活動をしています。あなたも森のスタッフと一緒に、汗を流しに来ませんか？

作業だけでなく、観察会や美味しいお昼ご飯が待っています！詳しくは遊林会事務局までお問い合わせください。

ボランティアだけでなく

新規会員さんも募集中です！



編集後記

7月前半、記録的豪雨がありました。心よりお見舞い申し上げます。西日本を中心に1,000mm=1mを超える雨が降りました。緑のダム、という言葉には、良い森は無限に保水能力がある、という幻想があります。森林もよくよく考えればいきものです。自然です。限度は必ずあります。 泉

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003

滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内

電話：0748-20-5211

メール：ikimono@e-omi.ne.jp